

「青少年育成市民会議」活動の一部を紹介します！

～子どもたちの健やかな成長を願って～

「あいさつ運動」を市内全域で推進しています！！

あいさつは、
笑顔添えて
私から…



あ明るく いいつでも さ先に つ続けて

「こども110番の家」設置事業

子どもたちがすぐに助けを求められる場所として「こども110番の家」を設置し、三角コーンを設置しています。令和4年度、登下校中の子どもたちが、「こども110番の家」に助けを求めた件数は71件でした。

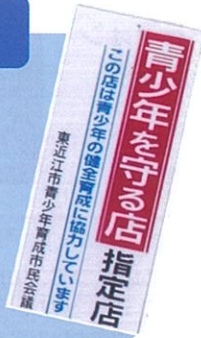


子どもたちの安全と
安心は私たちが
見守ります。



「青少年を守る店」の指定

青少年が、出入りする事が多い店舗を「青少年を守る店」として指定し、青少年の健全育成に支援・協力をいただいております。



「愛のパトロール」

青少年の非行防止や不審者・変質者への警戒を目的に、大型量販店や公園、通学路を中心に「愛のパトロール」を行っています。



「早寝、早起き、朝ごはん運動」の推進

青少年が健やかに成長するためには、規則正しい生活を送ることがとても大切です。「早寝、早起き、朝ごはん運動」を広く住民に浸透させるため、啓発絵本の貸出しや、啓発のぼり旗の作成、ラジオ体操の推進等を行っています。



「青少年育成通信」の発行

青少年育成市民会議の活動や、子どもたちの命を守るための防犯情報等を掲載した広報紙「青少年育成通信」を年3回発行しています。



愛東支部

愛東支部では、6月10日(土)三重県鳥羽市の「答志島」に中学生環境学習の一環で、漂着ごみの清掃に出かけました。県外での活動のため、5月14日に事前学習会を実施し当日に臨みました。参加者は、支部長、副支部長、事務局、愛東中学校の生徒(1年生から3年生まで14名)の計18名で、行政バスと船を乗り継いで現地に到着しました。桃取町の港に到着後、伊勢湾などから大量にごみが漂着する「奈佐の浜」に移動し、「奈佐の浜プロジェクト委員会」の小浦 嘉門さんから、海ごみの現状とごみ清掃の要領をお聞きし、清掃活動に取り組みました。約1時間あまりの作業でしたが、ごみ袋約50袋のごみ(ペットボトル、プラスチック類)を拾い集めました。

〈参加生徒の感想〉 ゴミの量の想像がつかせませんでした。けど、いざ奈佐の浜についてみると、そのゴミの量の多さに愕然としました。自分たちがちゃんと生活できるように少しでもプラスチックゴミを減らし、すばらしい環境を維持できるようにしていきたいです。そして、すばらしい体験をありがとうございました。(2年男子)

島に着いた時、すぐにペットボトルやプラスチック、流木などたくさんのゴミが目につきました。想像以上の量で驚きました。ゴミ拾いの時、マイクロチップ、ナノプラスチックなど5mm以下、もしくは目に見えないゴミがあることを知りました。そんな小さいゴミはどうすれば無くすことができるのか、持続可能でゴミ0の世界づくりが難しいことを実感しました。(3年女子)



臭いもあり大変な作業です。



小浦さんとの別れを惜しんで…

浜全体にマイクロチップから大型ごみが漂着し、見たこともない光景でした。



能登川支部



「愛のパトロール」 ～非行防止と社会環境の浄化を目指して～

『地域の子どもは地域で守り育てる』を合言葉に、各自治会の青少年育成・学区地域教育協議会委員と自治会長そして会員・支所職員の皆様の協力を得て、駅周辺・公園や大型量販店等を年間17回のパトロールしています。

また、4月15日(土)の総会では「愛のパトロール」について、笹木繁幸氏(東近江市総務部審議員)に、パトロールでの声かけや心構えなどについてご講話いただきました。



「合同研修会」 ～家族で地域でふれあいを目標として～

6月3日(土)能登川コミュニティセンターにおいて、当支部と能登川地区人権のまちづくり協議会の共催による「合同研修会」を開催しました。

講演会では、講師に上村文子氏(滋賀県教育委員会スクールソーシャルワーク スーパーバイザー)をお迎えし、子どもたちを取り巻く環境や背景は様々で、家庭や学校、地域の大人が子どもたちを理解し、温かく育むことが大切であること等、「子どもの理解と関わりについて」お話しをいただきました。

また、講演会後の能登川中学校吹奏楽部による演奏会では、子どもたちの力強い演奏に会場からは大きな拍手が上がり、研修会は盛況のうちに終わりました。

